

## 京都府大野ダムの洪水調節機能と情報の充実に向けた検討会

### 設立趣旨

平成30年7月豪雨により一級河川由良川沿川で大規模な浸水被害が発生した。上流に位置する大野ダムでは、事前放流による洪水調節容量の確保やきめ細かな洪水調節を実施し下流河川の水位低下に貢献した。

しかしながら、全国的にこれまでに経験のない異常な豪雨が多発していることを踏まえ、さらなる安心・安全の確保のため、大野ダムのより効果的なダム操作について技術的考察を行うとともに、より有効な情報提供や住民への周知のあり方について検討を行うことを目的に、「京都府大野ダムの洪水調節機能と情報の充実に向けた検討会」を設置するものである。

なお、検討に当たっては国や水資源機構が管理するダムの検証状況等を参考とするものとする。